

施策評価シート（平成28年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	1-4	政策名	観光の振興	政策の 目指す姿	国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています	施策 主管課	観光課	施策主管 課長名	富澤 秀和
	施策No.	3	施策名	移動しやすい観光地	施策の 目指す姿	観光客がスムーズに移動しています	関係課名			
	現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> ・自家用車で訪れる観光客が、市内に点在する観光施設へスムーズに移動するために、親切な案内表示に努めています。 ・公共交通機関で訪れる観光客に対しては、観光施設を周遊できる二次交通が運行されており、利用者から好評を得ています。 							

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組実績

<p>(1)観光案内表示の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○みちさき案内表示、観光案内板の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・観光案内板の現状把握と必要な対応の検討 <p>(2)観光施設間の移動手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○駅から温泉、観光施設間の二次交通の運行支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新花巻駅(花巻駅)と花巻温泉郷宿泊施設を結ぶ無料共同送迎バスの運行に対する支援 ○効率的に巡回する観光ルートの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・主要観光施設を巡るツアー「あったかいなはん号」の運行に対する支援 ・県外発着で市内宿泊が伴う団体貸切バスツアーに対する支援

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
					観光循環バス等の利用者数	二次交通の観光バスがどの程度利用されているかを示す指標として設定する。	それぞれ実施主体からの報告値による。 ※温泉バス、あったかいなはん号の合計	人	目標値	
				実績値	34,568	51,029	53,054	58,559	58,023	54,040
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>■成果指標「観光循環バス等の利用者数」・・・【達成度b】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度秋に希望郷いわて国体・いわて大会の開催による選手や大会関係者の配宿により、例年10月下旬から11月の紅葉シーズンのツアーが造成されなかったことや観光を目的とする来訪者が宿泊できなかったことにより、観光施設等を巡る「あったかいなはん号」利用者の減少の原因と分析。 ・駅と花巻温泉郷宿泊施設を結ぶ無料共同送迎バスについても、上記と同様に、希望郷いわて国体・いわて大会関係者は、独自の貸切バス等による移動により、本バスの利用が減少したものと分析。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	観光案内板整備事業	観光課	A	-
	観光案内板調査事業 (委託料 8,856千円、全1,187基調査、次年度より順次、修繕・撤去・新設を計画)			
2-1	観光ルート整備事業	観光課	A	C
	新花巻駅(花巻駅)と花巻温泉郷宿泊施設を結ぶ無料共同送迎バスの運行に対する支援 (補助金 9,020千円、運行回数 10便/日、利用者数 52,576人)			
2-2	観光ルート整備事業	観光課	A	C
	レトロジャンボタクシーによる主要観光地を巡るツアー「あったかいなはん号」の運行に対する支援 (補助金 6,300千円、運行回数 336回/年、利用者数 1,464人)			
2-3	観光ルート整備事業	観光課	A	C
	県外発着で20人以上の市内宿泊が伴う団体貸切バスツアーに対する支援 (補助金 3,810千円、127台(30千円/台))			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
なし

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)
なし

(新たに取り組むべき事業はないか)

・少人数化する旅行形態、体験型観光や地場産品を巡るルートなど、多様化する観光客ニーズに対応するコース設定の検討が必要。

6 施策の総合的な評価

(課題)

・広範囲にわたる観光資源を、公共交通のみで巡回することは、難しい状況であることから、民間事業者等との検討、調整が必要。

(今後の方向性)

・主要観光施設を巡るルートは、市観光客動態調査の傾向をもとに、上期・下期の見直しにより設定する。